

みんなで協力してビオトープを作りました！

～第2回千波湖環境学習会～

6月5日に、本年度第2回目となる千波湖環境学習会を開催しました。毎年6月の環境月間に水戸市環境フェア関連事業として、前日のホタル観察会に続き、ビオトープづくり、千波湖の外来種駆除、千波湖周辺の昆虫の観察会などを実施しています。

当日は天候にも恵まれ、絶好の学習会日和となりました。5日に実施する学習会の1本目となるビオトープづくりには、地域の小学生を中心に118名の参加がありました。

今回のビオトープ作りのために準備した植物は、ヨシやガマなど合わせて約3,000本となりました。これらの植物は、同じ偕楽園公園内でホタルの再生活動を行っているホタルネットワーク mito様のご協力をいただきながら、周辺の湿地帯でのホタルの生息地を守るため、間引きを行った植物を採取してきたものになります。

千波湖にビオトープを作る活動は平成24年度に始まり、今年で11回目の活動になります。こ

れまでに造成したビオトープは、1周約3kmの千波湖の1割に当たる300mとなり、昨年度からは環境の変化により陸地化してしまった過年度に造成したビオトープのメンテナンスも行っています。

参加者全員が力を合わせ、協力して作業をしていくことで無事にビオトープを作ることができました。服が泥で汚れるのも気にせず、千波湖の環境をよくしようと必死に作業する子どもたちの姿を見て、今後の千波湖は、よりよい環境となり、生き物の生息地としてもさらに豊かになっていく期待の持てる結果となりました。

ビオトープとは、ドイツ語で生物を意味するビオ(bios)と場所を表すトープ(topos)を合わせた言葉で、多様な生き物が生息する空間という意味があります。水辺の豊かな自然環境は多くの生き物を育み、水際にヨシなどの湿生植物を植栽することにより、窒素やリンなどの水中の栄養分を吸収し、水質を良くする効果も併せて得られます。



集合写真



作業する子どもたち

挨拶及び提供品等でご協力いただきました、ありがとうございます。

共 催：千波湖水質浄化推進協会様

飲み物：有限会社沼田クリーンサービス様 株式会社ジーエスケー茨城様
有限会社リビング館ホンダ様

文 具：株式会社フットボールクラブ 水戸ホーリーホック様
株式会社いばらき環境改善様

お菓子：東部燃焼株式会社様